Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

7グループ

1.地域の見守りシステム

独居の方に訪問する（話を聞く）ボランティア。

外に誘い出してくれる人が近所にいる。

家の近所の中学校や高校の学生にボランティアとして安否確認。

隣同士、近隣の声かけあいを出来るようにする。

ケアマネが近所の人へお願いする。（民生委員や町内会長など）

家族が気楽に介護のことを相談できる窓口。*ボランティアの人たちの力を借りる。

民生委員の増員。
認知症などの説明・理解を深めていく。

訪問した独居の人の情報を行政に報告する等の手段。
情報を吸い上げられる仕組み。

通院しているHPでの確認。

息子さんが気になった時様子を見に行ってくれる人がいる。

・郵便局員、新聞配達員の方が郵便を届ける時に声をかける。

・宅配便の方等が訪問した時に困りごと（買い物等）はないか確認する。

◎町内会とのタイアップ
・町内会のサポート
・町内会の中で独居の方を把握。
（町内会長の連絡、横のつながりを深めていく）
・町内会に参加してくれない理由を整理する。

◎協力体制
・人の確保、学生（藤女子の学生）の導入
・定年退職者の役割
仕事を紹介してくれる。
・団塊の世代は自分で助け合う。

2．緊急時の受け皿

非難出来るところ。

ショートの緊急時に対応出来る部屋を保障し、確保する。

緊急の空きベッド分の料金を保証する。

何か起きた時にとにかく受け入れて安全確保できる場所がある。

病院の入院の空き状況をわかるようにする。

ショートステイ等、パソコンを利用し空き情報を共有できる場所を作る。

◎情報提供
・冊子など
・ご本人のもとに利用できる社会資源のリストが届く。（集まれる場所、人）

・病院から在宅まで1つの情報を共有できるようにする。
・病院の受付などにも相談しやすい窓口を増やしていく。
（ボランティア等）
・HPに相談しやすい。

個人情報保護法にまどわされない

3．サービスの低額と増加

配食サービス、実費サービスをもう少し安く提供できる事業所。

独居の方が集まれる（生活）できる場所。

入所出来る施設を増やす。（低額）

低額で集えて泊まれる場所。

在宅サービスを増やす。

ケアマネがあきらめない。
どんな人でも在宅支援をできるようにする。

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

石狩市地域ケア会議全体会（平成25年3月7日）グループワーク
テーマ：地域包括ケアへ向けて、今からできることを考える

6グループ

1．団塊世代の役割・働く場所

支え手としての高齢者、要介護者も増えるが、支え手も増える?！

団塊世代は、高齢者になる心構えが出来ている人が多いのでは。
それをもっと下の世代に伝える。
お手本になってほしい。

◎隔地サービスの充実
厚田や浜益地区等に訪問介護、訪問看護等来てくれる事業所が少ないので増やして欲しい。
デイサービスも増やして欲しい。

町内会に入りしくみを知る。

2．在宅・施設の受け入れの特色

それぞれの施設の特色を知りたい。

ターミナルケアを。

事例を通じて、成功体験・失敗体験

要介護者を自宅で受け入れやすくする方法。

訪問サービスの充実

3．インフォーマル

見守りあい、気づきあい、支えあえる町内会づくり。

インフォーマルサービスの増加

ボランティアのポイントについて知りたい。

◎施設費用
・高齢者住宅、グループホームを安くする。
・入所、入居費用が安くなったら有難い。（年金でおさまるように）
・グループホームの入所料を今の料金より安くしてほしい。

ケアハウス、グループホームや高齢者住宅の空き状況を1ヶ月に1回定期的に開示していく。

デイケア、デイサービスの送迎も階段もOKにして

デイケアのリハビリの質の向上

ロケァーの施設がもっとあったほうがいい。

委託する事業ではなく石狩市が買い上げるサービスに変える。

石狩市地域ケア会議全体会（平成25年3月7日）グループワーク
テーマ：地域包括ケアへ向けて、今からできることを考える

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

5グループ

施設・住まい

八幡地域のように、高齢化が更に進んでいる地域にも高齢者住宅を。

老建1つじゃ足りない!
回復期リハ病棟のあるHP1つは足りてない！

仲が良かった知人と別れて施設に入らなければいけないのは淋しい。
何とかならないのでしょうか？

もっと街中に特養を建設する。
多床室あり。
（金額、安くなるので低所得者向け。）

サービス充実住宅・施設

安価な高齢者専用アパート

空き家の有効活用。

予防

生活習慣病 → 予防
悪化

介護が必要とならない期間を長くする。

親子関係を良くする。

健康づくり、元気な高齢者が増えるための予防事業がもっと増える。

能力

シルバーさんのような活動が出来る人たちの発掘。

地域

郵便、銀行、買い物に行きたい。歩けないかも。
どうやって確保する？おつかい？

・認知症の方の運転免許返納とともに
もっとお手軽に外出できる公共の乗り物を
（格安タクシーなど）

・福祉の人にお金をかけて、政治、

相談

スーパー・学校を拠点とした相談窓口、情報提供の場

問題意識、専門知識がある私達が仕事のみならず町内会、PTAに関われる所へ出て橋渡しする。

高齢者の方の生の声が聞けるような機会をもうける。
（不安な事、困ってる事等）

この先、地域・町内会へのアプローチ
（現在の石狩は情報が密で

見守り

隣のくらしがわからない。
助けたらいいのか、ほっとくのがいいのか？

雪かきしていない家がある。気になる、どうしよう？

↓

顔の見える地域づくり
・〝地域家族〟困っている人をできる人が助ける
（手伝う）
・地域での見守り体制の強化
（独居老人の安否を確認できるもの）

石狩市地域ケア会議全体会（平成25年3月7日）グループワーク
テーマ：地域包括ケアへ向けて、今からできることを考える

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

4グループ

1．地域の役割

- お隣さんとの関係をもてる仲介してくれる人がいたらいい？
- 隣同士で挨拶。「元気ですか？」や電
- 町内単位で頑張る。
- 老人のいる施設を町内会長等が見回る。民生。
- 安否ネット。

2．認知症の理解

- 福祉関係者はオレンジリングを取るのを義務
- 認知症の知識や介護の勉強会を小規模で
- スーパーや店に認知症の知識をつけて頂く。

3．行政への期待

- グループホームの居室を市が買い取り、市民へ提供する。
- 住居の所得分別
- 家族を介護できる社会制度ができる(長期でも休めるもの)
- 学校の空き教室を作って要介護の人達を安心して住まわせられないか。地域のボランティアをつのって。
- 福祉にたずされる人の給料を上げて、介護力を上げる(F2以外の)

4.居宅サービスの充実

- 家族で住む。
- 自宅でサービスを受ける。
- リフト浴出来るデイケアの増加。
- ヘルパーさんを多くしてもらう。(独居者に1日1回訪問してもらえる位の数)

5．ケアマネの業務拡大

- 役人・包括・ケアマネなどの待ちでない取り組み。
- 居宅ケアマネの業務を見直してもらい、もっとアウトリーチが実施できるようにしたら(行政に)良いのでは？

6．新しい住み方

- 若い世代(世帯)と老人世代(世帯)とが住めるシェアハウスを作る。若い世代は家賃が安い。

石狩市地域ケア会議全体会（平成25年3月7日）グループワーク
テーマ：地域包括ケアへ向けて、今からできることを考える

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

3グループ

地域

若者が定着する町づくり。

除雪で困らない町づくり。
↓
市外転勤防止

札幌市など石狩市以外からの流入を防ぐ。

・すぐに増やす事が出来ないだろうから地域の近所力を日頃より利用して声かけ等で毎日顔を見る様なシステム作りをすることが良いと思う。

・町内会活動が活発になり近隣との交流をもつ。

地域の方が地域の現状を把握できるようにする。
（資料や講演会など）

・一人暮らしの家庭に町内とかで声かけする制度を作る。
（安否確認）

・よその地域で今日は元気ですとハタをたてる。

・民生委員の方のバックアップを高める。

・民生委員等の声かけも良いと思われる。
日頃の思いを聞き取ることが大切。

＜地域力＞
町内会の力や隣近所のつながりを強く。
地域連携を強化し、情報を

教育

子供が関心を持つような環境(教育)づくり

◎教育機関(小・中・高)への福祉教育の導入

・義務教育のうちに介護への関心を高め、
地域の力を増強する。

ヘルパーの養成

・市民に向けた介護方法などの講習会を開き、
家庭の力を増強する。

・一般の方でも介護の勉強ができる研修等を
充実していく。

予防のための健康づくり、体力づくりの集会などに参加し、健康を維持する。

施設や在宅サービスなどの知識を増やす。

施設

看護師を常に居るホームにしてほしい。

介護職員が少ないので増やしてほしい。

介護保険外で高齢者が通えるデイサービスを。（サロン）

軽費老人ホーム、高齢者住宅、を増やす。
施設・サービス事業所の増設。

・介護職の離職を防ぐ取り組み。

石狩市地域ケア会議全体会（平成25年3月7日）グループワーク
テーマ：地域包括ケアへ向けて、今からできることを考える

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

2グループ

住まい

・セーフティーネットとしての役割の強化
　特養の増設（増床）

・高齢者向けの住宅を増やす
（重度者向けを作りたい）

・高齢者の集合住宅を地域に設置
（住み慣れた地域に）

施設間の連携の強化。

市営住宅の活用
（施設の建設費をかけない。）

地域を指定し、モデル地区を作る。
（高齢者が住みやすい地域）

少し元気な高齢者同志でシェアハウス作り。

若くてさみしい独居（ひきこもり、シングルマザー等）人と、独居高齢者の同居をつなぐシステム。

地域のつながり

ボランティアの活性化、介護者の導入。

介護者養成教室
（介護を誰もが経験した事があり、誰もが出来る。）

・インフォーマル住民などへの地域福祉の啓発を。
例えば、石狩市内の各事業所を持ち回りでやる。

・介護保険除外のインフォーマルサービスを生み出していきたい。

町内会、民生委員、老人会等にもっと意見を聞きたい。

高齢者クラブ内でも話し合い、お互いに見守りをしてもらう。町内会も同様、助け合っていけるようにしたい。

◎ご近所同士の見守りを強化
・近所で集える場を増やす。見守り出来る場

・住民ひとりひとりが周囲の人を気にかけるよう意識を高める取り組み。
（向う三軒両隣）

・町内会の行事に案内を出したりして参加を促す。

新しい取り組み

石狩の病院やクリニック等医療関係等の連携を図る。

病気・介護予防
（要介護者を増やさない）
↓
高齢者ひとりひとりが元気でいる為の知識や取り組みの普及。

どんな人でも良いので高齢者ももちろん集えるコミュニティカフェみたいな物があれば。

高齢者が通う老人大学開校。

◎安否確認
・誰か友達と毎日「生きている」サインを決めてお互い毎日確認。

・独居高齢者同士毎朝電話で確認し合う。

・地域に若者を増やし、介護の担い手を増やす。

・若い人たちで高齢者のいる家を訪ねる。

Generated by Foxit PDF Creator © Foxit Software
http://www.foxitsoftware.com For evaluation only.

Iグループ

1．手の届きそうな新サービス構築

1人暮らし住宅生活への夜間見守りシステム
（安否確認）
＊電話とかを活用

配食サービスの料金低下

・保証人がいなくても入れる施設

・ペットと入れる施設がふえたらいいな

介護者を理解してあげられる場

・車がなくても生活が変わらないように
個別外出に連れて行ってくれるサービス。

・電話で買い物できるスーパー

・病院、店などを廻れる車を自分の好きな時間に
移動できるシステム

2．高齢者パワー

高齢者に社会的役割をもっと（仕事）提供する
（労働力を活用）

・高齢者の力を活かすボランティアシステム

・老人が老人を助け合うネットワーク

高齢者下宿
シェアハウス

3．若者パワー

若者への介護についての学校教育
（興味を持たせる）

除雪ボランティア

ニュータウンの誘致で若者を

4．フォーマルサービスの充実

限度額の市独自の引き上げ。

在宅介護サービスの充実

グループホームや施設の増設。